

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第 2 号

発行日
平成12年12月1日

< 目次 >

- P1 ミヤジマママコナ
- P2 第1回 JPR 包ヶ浦 (8/5)
- P3 第2回 JPR 大久野島 (9/9~10)
- P4 第1回 自然観察会 (10/15)
- P5 (連載)宮島紹介
PV会員投稿記事
- P6, 7 PV会員自己紹介
- P8 自然保護官事務所 連絡事項



【ミヤジマママコナ】 ゴマノハグサ科 ママコナ属 半寄生の1年草。

10月15日の自然観察会(P4参照)の帰路、獅子岩から博打尾に抜けるコースにたくさん咲いていた。この薄い赤紫色の花に出逢った時、感動を覚えたのは、宮島に草花が極端に少ないせいだろう。

2cm足らずの小さな花ではあるが咲き乱れていた。この花、紅葉谷コースでは見つけることが出来なかった。谷筋ではなく、尾根に好んで咲いているところを見ると、日当たりや水はけの良い地を好む性質だろうかと推測する。駒ヶ林の付近でも見かけたという情報があるので、この推測が正しいのか確認してみたいものだ。

ミヤジマママコナは、シコクママコナの変種と言われる。その違いは苞(花の下にある葉の変形したもの)にギザギザが無いというところ。(宮島の植物誌 参照)

ママコナの意味は、「継子菜」や「飯子菜」と表現されているところから、推測してみたら面白いのでは。

- > 文章: 杉本頼優
- > 写真: 木下三郎
- > 参考: 宮島の植物誌 金井塚 務 著
牧野日本植物図鑑等

☆☆☆ 包ヶ浦でメダカの観察 JPR第1回 ☆☆☆

- <日時> 2000年8月5日(土)
 <場所> 宮島町包ヶ浦自然公園とその周辺
 <集合> 宮島口フェリー乗り場 9:00(スタッフ8:30)
 <解散> 同上 16:30
 <交通> ①行き: JR宮島連絡船宮島口9:55→宮島10:05(マイクロバス)
 10:30包ヶ浦自然公園管理センター着
 ②帰り徒歩包ヶ浦15:30発宮島棧橋16:00着→JR宮島連絡船宮島口
 <目的> 子供達にレンジャーの活動や自然公園、PVについて理解してもらい、
 また、メダカを使って野生生物の生態や周辺環境を考え、ごみ拾いを
 実践することで自然とのかかわりを身近に感じてもらう
 <参加者数> 50名(合同伴者6名)
 <講師> 呼坂達夫氏、住田典子氏
 <スタッフ> 山陽四国地区自然保護事務所 亀澤玲治 杉本頼優
 人間科学研究所 志賀誠治 内平八重子
 パークボランティア 20名

活動内容:「子どもパークレンジャー」第1回目は宮島でスタート。班ごとに別れたのちレンジャーグッズを配付。遅刻者はゼロ。定刻通りに出発。

船内にてレクチャー「瀬戸内海ってどんなところ?」各班ごとにPVが「どんな生き物がいるか」「どの県に接しているか」など即興のクイズなどを交えて解説。定刻に宮島に到着。マイクロバスで、包ヶ浦まで移動。

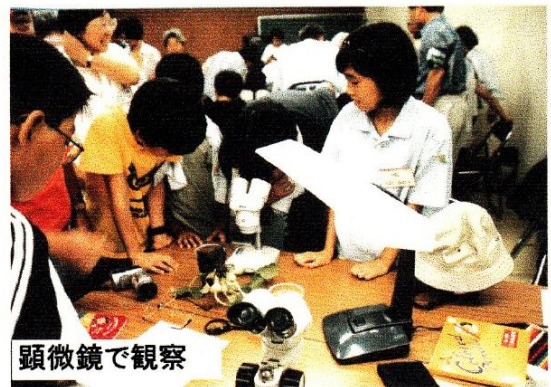
任命式:山陽四国地区自然保護事務所より挨拶。スタッフ紹介の後、JPR手帳を配付。JPR事業や、自然公園について杉本氏より解説。1日の日程や、注意事項などをオリエンテーションした後、班ごとにPVとJPRで自己紹介。



四つ網にてメダカ捕獲

メダカの生態観察<1>: 野生のメダカについて呼坂講師が解説。センター近くの小池にて呼坂講師とPV横山さんが四つ網にて見事野生のメダカをGET!【写真】。バケツに移して観察。センター内外にて自由に昼食、休憩。

メダカの生態観察<2>: オス・メスの違いを色塗りにて学習。班ごとにメダカすくいをして、各テーブルに持ち帰り、実物でオス・メスについて観察。メダカの発生についてVTRを見た後、ホテイアオイについた卵を顕微鏡で観察【写真】。発生段階の進んだ卵では、中で稚魚の心臓が動くのが見え、同伴者やPVも驚く。呼坂講師より野生のメダカの生息環境について野生生物全体の保護とからめた解説。



顕微鏡で観察

ごみの観察会・清掃活動: 住田講師よりまず軽い気分転換の体操の指導。左右の指を指示通りにするものだがかなり大受け。その後レクチャー「ごみの分別」「どんなものがごみなのか」。海岸に出て約30分ごみ拾い、分別の実習。センター内に戻り、再び住田講師より「包ヶ浦のごみの特徴」などについて説明。

まとめの集い: 振り返り(手帳に記入)。各講師よりまとめの話。今度は包ヶ浦から棧橋まで、ごみを拾いながら、歩いて移動。まだ子供達は元気で予定より早く到着。分別の後点呼、乗船。宮島口にて予定より30分早く解散。



海岸でごみ拾い

★★★ 大久野島で野営 JPR第2回 ★★★

- <日時> 平成12年9月9日(土)～10日(日)
 <場所> 竹原市忠海町「休暇村大久野島」(今回の宿泊はテント) * 大久野島は周囲4.3km、面積71.2haの小さな島が全部休暇村。ほとんどが環境庁管轄。
 <集合> 広島駅北口 9日8時50分(スタッフ8時30分)
 <解散> 広島駅北口 10日17時30分
 <交通> ①行き:JR広島駅 9時10分発 → 呉線經由 → JR忠海駅 → 忠海港(船15分) → 大久野島 11時42分着
 ②帰り:大久野島14時40分発 → 忠海港 → JR忠海駅 → JR三原駅(乗り換え) → JR広島駅 17時13分着
 <目的> 大久野島で一泊二日を過ごし、海辺の自然や暮らし、歴史文化に触れるの中から豊かな感性や自然を大切にす心、友達や動植物を慈しむ心を育むことを目的に実施。
 <参加者数> 36名(合同伴者1名)
 <講師> 坂元静馬氏、井町千代美氏、大森健治(ダイちゃん)氏
 <スタッフ> 山陽四国地区自然保護事務所 杉本頼優
 人間科学研究所 志賀誠治 内平八重子
 PV 麻生(1班)近藤(2班)古川(3班)中道(4班)宮崎(5班)柳瀬(6班)横山(総括・記録)

活動内容

・1日目(9月9日)

大久野島到着後、歓迎のご挨拶やオリエンテーションあり、その後持参のお弁当で昼食。

13時から6班に分かれて「体験プログラム」の開始。最初は内平さん指導で①仲良くなるゲーム(ジャンケンで人数を替える)行いました。

その後、6班を2グループに分けて、②竹の紙すき和紙づくり(坂元先生の指導で竹原市に伝わる竹を材料としたはがき&色紙づくりに挑戦)【写真】と③大久野島の自然&歴史の探検隊(歴史的な施設跡、島の自然をポロロカメラで撮影しながら自転車で島を一周して島のマップを作り)をしました。しかし、大雨になり1グループは翌日に!

6時30分、夕食はシーフードバーベキューを美味しくいただきました。スタッフにとってはビールのないバーベキューでした。

夜は④ウミホタルの観察(ビンに餌を入れて海中に入れたトランプでウミホタルを捕獲した。暗くした部屋で50～60匹入れたグラスの水に静電気をあてると、一瞬のうちにグラス全体神秘的な光を発光。みんなから「ワッ!」と感動的な声。)その後、⑤ナイトハイク(「丘越え」と「平地」コースに別れ懐中電灯を持って夜の自然を探索)しながらテントへ。スタッフは炊事場でビール片手に翌日の打ち合わせと懇親会を夜中まで一。

・2日目(9月10日)

7時起床。朝食後、1グループは「③」、もう1グループは「毒ガス資料館」を見学。その後、班ごとに写真を貼ってマップ作りを完成させました。

次に井町講師の指導で⑥海辺でイロイロ自然遊び((1)抜け殻だあれ(砂浜にホースをつくって寝転んだ友達の色を線で描きその人を他のチームが当てる)【写真】(2)海の匂い探し(海を感じさせる物及びごみの収集)など)を楽しみました。

昼食(カレーライス)の前に記念撮影【写真】。最後に⑦ふりかえり(手帳に記入)をして終了。

14時20分大久野島国民休暇村を出発。14時40分乗船。電車の中ではもう皆は疲れて声なし&お昼寝。広島駅に到着後17時30分解散。



②竹の紙すき和紙づくり



⑥海辺でイロイロ自然遊び



全員で記念写真

☆☆☆ 秋の弥山ウォッチング 第1回自然観察会 ☆☆☆

＜日時＞2000年10月15日
 集合 10:00
 紅葉谷ロープウェイ駅前
 紅葉谷ルート(途中、昼食)
 解散 14:30 獅子岩駅

＜参加者＞講師 金井塚 務
 オブザーバー 杉本 頼優
 パークボランティア 19名
 同伴者 2名

＜地形ウォッチング＞

紅葉谷には砂防工事が実施されている。その工事は全体で15基の砂防ダムと中～下流部の床固工が施工されている。ここは1945年9月の枕崎台風により上流部が大崩壊し、その土石流で下流は大被害を受けた谷です。1948年から3年間かけて復旧工事(当時工費約2,400万円)が行われた。

今では紅葉谷公園として紅葉の時期には多くの観光客が訪れる観光スポットになっている。

＜ツリーウォッチング＞

話題: 植物遷移(マツ林から照葉樹林への遷移したと考えられる弥山原始林がすべて極相を示しているわけではない。人手が加えられた二次林も多く、伐採後の根株または幹株の切口から発生した萌芽で成長した樹木が見られる。垂直分布(ミズバイ(ハイノキ科、暖かい地方に生える)は標高350mより高いところには生えていない。

観察された主な植物

シリブカガシ、ミズバイ、アラカシ、アベマキ、オオツルウメモドキ、カヤ、ウリハダカエデ、テイカカズラ、カギカズラ、アカガシ、ヤマンバナカミノケ、ヤブツバキ(ピンクの花を付ける変異種)、リンゴツバキ、リンボク、ツクバネガシ、サカキ、クロバイ、マツグサ(解散後)ミヤジマママコナ、ヒノキバヤドリギ【写真】



ヒノキバヤドリギ

＜ズーウォッチング＞

鹿のヌタ場、足跡・寝床、死体の話(胃の中にビニール袋があったこと、虫・微生物作用による死体分解)

サルの群れ、食べ物の話(2群、約70頭が生息すること、餌場に群れで移動)



庭園砂防のところで末原さんの解説を聞いているPV



金井塚講師の解説を聞いているPV



閉会の様子

★★★ (連載) 宮島紹介 ★★★

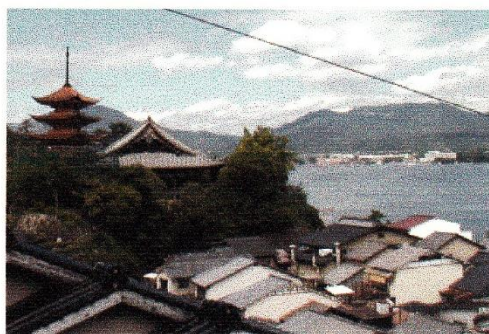
②「宮島町の人口」

近年、新聞やテレビの報道で高齢化少子化が叫ばれ、さまざまな問題が持ちあがっていますが、現在、宮島町には2,275人、952世帯の人々が住んでいます。住んでいるといっても、実際は厳島神社を中心とする市街地域にそのほとんどが暮しています。

宮島を観光する時に必ず通る商店街の一步裏の通り切りや、包ヶ浦に行く途中にある杉之浦地区辺りです。ここでちょっと余談になりますが、宮島の家について、たくさん家が壁一枚でくっつき、うなぎの寝床のような家が多いのに気付くはずです。というのも、その昔家の間口の大きさと税金の額が決まったとか…ちょっと家を直すのも、隣近所を巻き込む大仕事になっているみたいです。

また、宮島は多くの法律によって家の高さや色など多くの規制があります。対岸の大野町や廿日市市のように大きなマンションはありません。

話を元の戻して、十年前は2,849人1,075世帯、二十年前は3,328人1,116世帯の人



が住んでいました。

宮島町は高齢化率も高く、20%を越え30%に手が届きそうな所まで来ています。赤ちゃんは毎月一人または二人のペースで生まれていますが、労働人口が増えないのが現状です。

若い人は、宮島は不便だと言って島を出ます。確かに、船通勤・住宅事情や島内での就職先など問題を挙げると限りがないけれど、それに見合う何かがあるような気がします。

>文章:花見堂 英延

★★★ 投稿記事 ★★★

「クマバチの掟破り(?)の吸蜜行動」

>文章:六重部 篤志

6月3日の総会后、会員の新川 博さんに誘われて包ヶ浦へ「ハマゴウ」の花を観に行きました。昨年の宮島JPR引率研修の下見の後にハマゴウの自生地を案内し、6月の初旬には花が咲きますと言ったのを「花暦」に記録しておられたようで、自分が蒔いた種とつき合ったものです。

昨年は砂浜に枯れ木を咲いたような状態でしたが、今は葉も青々と繁り丁度満開状態で、青紫の花が一杯咲きとても綺麗でした。そこには「クマバチ」が花から花へ飛び移りながら吸蜜していました。

ハマゴウの花は、唇形で花冠から蜜のあるところまでの距離が長いのでクマバチの短い口吻では届きません。

クマバチはハマゴウの唇状の花冠にまず前脚と中脚でとまり、中脚と後ろ脚でとまりなおしてさらに前足で筒状部をしっかりと掴み、花の付け根に口吻をブスッと突き刺して蜜を吸い、次の花に移動していました。通常の吸蜜は、花冠から奥に入るなり口吻を伸ばして行われていますが、これはまさに「掟破り」。

しかし、よく観るとクマバチの胸部はハマゴウの花粉で真っ白、6本の足で花冠をしっかりと掴んだときに胸の花粉が雌しべに触れて、蜜を貰う替わりにちゃんと受粉活動はしていたのでした。

家に帰り「エコロジーガイド花と昆虫がつくる自然(保育社・田中 肇著)」をめぐってみましたがこのような吸蜜方法は載っていませんでした。植物(ハマゴウ)と昆虫(クマバチ)のかかわり・つながりの新しい(珍しい)発見かも。



写真引用:週間朝日百科「動物たちの地球」第1巻

PV 会員紹介

第 2 回

矢吹 俊一 環境整備部会

- ① 呉市 阿賀南 O型
- ② 出身地 西城町に19年 首都圏に16年
- ③ 世界遺産の宮島で環境保全などに少しでも役立てればと思います
- ④ 広島市の森林公園管理ボランティア 呉市の福祉関係ボランティア 等
- ⑤ 将棋・囲碁・麻雀 山歩き、絵画
- ⑥ 富士山
- ⑦ 先日メダカの卵の顕微鏡観察では感動
- ⑧ 目下5kgの減量目指して懸命の努力をしていますが、苦戦です。

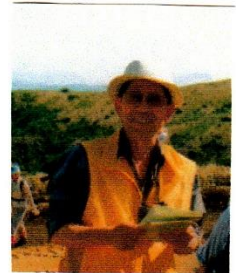


自己紹介 アンケート

- ① 現在住んでいる所、血液型
- ② 出身地、今まで長く住んだ所
- ③ PV に応募した動機
- ④ 他にボランティア活動をしていますか？
- ⑤ 趣味、特技など
- ⑥ 今までに登った一番高い山は？
- ⑦ 最近何か感動したことがありますか？
- ⑧ その他自己PRなど何でも

村上 光春 環境整備部会

- ① 佐伯区屋代（極楽寺山の麓） O型
- ② 福岡県、現住地に8年
- ③ 自然、歴史、文化のいづれにも関心があり、世界遺産に登録された宮島・厳島神社は恰好の教材なので、より理解を深めたいと思い。
- ④ 環境庁環境カウンセラー 環境庁の身近な生き物調査に参加
- ⑤ 毎年、山開きの日に九重山に登ること
- ⑥ 富士山、奥穂岳、仙丈岳
- ⑦ 今年の九重登山・黒岳の満開のツクシシヤクナゲ・滾々とわき出る清水・突然の雷鳴と雷雨・・・自然の素晴らしさと厳しさを改めて実感しました。
- ⑧ 宮島と同じ国立公園に所属する極楽寺山も素晴らしいところです、同山での観察活動などある時には声をかけて下さい。



小川 加代 観察部会

- ① 廿日市市 AO型
- ② 広島県三次地方 廿日市に延べ12年
- ③ 昔、パークレンジャーに単純に憧れたことがある
- ⑤ 家の中に大きめの小型犬が3頭いる
- ⑥ 富士山（6合目）
- ⑦ 初心者向けの俳句講座に参加し出された季語から記憶をたどりつつ句にすることが出来たとき文句なしに感動！



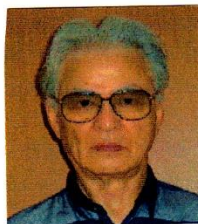
松尾 健司 広報部会

- ① 広島市西区 東観音 A型
- ② 静岡、大分、福岡
- ③ 広島に来て以来、独自の文化・伝統を守り続ける宮島エリアに興味があった。
- ④ 時々、色々
- ⑤ 小動物の取り扱い（モルモット・ウサギ・山羊など）はプロ級？（並木通りの路上で 書いてもらったもの）
- ⑥ 登山は好きじゃない。
- ⑦ キノコ採集会に初めて参加し狭い林の中にも様々な色・形のキノコを見つけて感動！
- ⑧ 図鑑を抱えて畦を歩き、時々振りかえって富士山を眺めていた風変わりな5歳の子・・・20年後、その想いを人様のお役に立てる機会に恵まれました。よろしく！



新川 博 観察部会

- ① 広島市東区 尾長東 O型
- ② 出生は北京市
- ③ 宮島は学生時代から故堀川芳雄先生（元広大理学部教授）に自然を護らねばならないことを教えられてきたので関心が深かった。
- ④ 東区「緑のボランティア」で東区の自然保護に取り組んでいる。
- ⑤ 第1級アマチュア無線技士 SAJ スキー検定1級
- ⑥ 北アルプス
- ⑦ 初めて自生の「サギソウ」の花に出会ったこと。



(ろくじゅうぶ あつし)

六重部 篤志 観察部会 A型

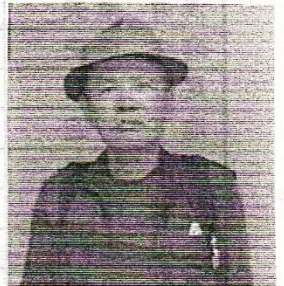
- ①広島市安佐北区 安佐
- ②広島県、現住地が長い
- ③広島自然観察会で何度も宮島の観察会を行っており宮島の植生に特に興味があった。
- ④(財)日本自然保護協会の自然観察指導員
- ⑤魚釣り。大勢の人前でもあがることがない。
- ⑥今夏、富士山に登り「軽い高山病」にかかりました。
- ⑦クマバチの掟破り(?)の吸蜜行動・・・(詳細について今号5頁に記載)
- ⑧「気楽なつもりで」「先々のために」「ちょっとだけ」の気持ちで片足突っ込んだつもりが、いつも気がついた時には・・・「片足どころか全身浸かっている」



中川 正

観察部会 O型

- ①大野町 宮島の対岸
- ②広島市 広島が長い
- ③毎日眺めている宮島の美しさを次の世代に引き継ぎたい、そのために少しでも役に立つことはないだろうかとの気持ちで。
- ④近世西国街道を歩く
- ⑤富士山 若かりし頃
- ⑥昨年8月 弥山の山頂で彩雲を見た。



丸平 健二

観察部会 O型

- ①広島市安芸区
- ②呉市 現住所に50年
- ③自然の宮島をもっと理解し認識を高めたくて。
- ④自然保護ボランティア(広島自然観察会)
- ⑤山登り
- ⑥富士山
- ⑦宮島JPR「メダカの卵」観察で顕微鏡を通して小さな生命体を見たとき。



浅井 孝夫 観察部会 A型

- ①東広島市 西条中央
- ②奈良県 広島県は3年目
- ③宮島の自然が大好きだから地域の人々との交流を深めるため
- ④生物学専攻
- ⑤記憶の中では徳島の剣山(1955M)
- ⑥船の上から見る夏の「宮島水中花火大会」本当に素晴らしかったです。
- ⑦厳島神社だけでなく宮島の自然、風土も世界に誇れるものです。みんなで宮島を守っていきましょう。

(のろだ)

野呂田 恵子 環境整備部会 B型

- ①廿日市市 新宮
- ②尾道市
- ③宮島が好きだから
- ④心身統一合気道
- ⑤伯耆大山
- ⑥10月1日 極楽寺でみたハチクマの渡り



岩崎 義一 観察部会 A型

- ①佐伯区 五日市 自宅9階から毎日弥山を眺めています
- ②大阪市 住んだ期間がもう少しで広島と大阪が同じになります
- ③よく登っている弥山を愛することと宮島の歴史や文化に興味を持っていたこと(数ある世界遺産の中でも宮島はとりわけ素晴らしい)
- ④旅行
- ⑤登った一番高いところは ユングフラウ・ヨッホ(3573M)
- ⑥10月上旬のインド旅行、感動と言うよりは予想以上の驚き、不可解さ。生と直面しているインドを見てきました。
- ⑦宮島地区PVの会が存続する限り続けます。



◇◇ 部会からのお知らせ ◇◇

来年早々の行事として環境整備部会、観察部会合同で1月13日(土) 弥山登山による清掃、観察を計画しています。詳細が決まり次第連絡します。

◇ 次号発行予定のお知らせ ◇

第3号 発行予定 3月15日
原稿締切り 2月15日

☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆

最近生涯学習の看板が目につきます、一学習一趣味、一スポーツ、一ボランティアです。PVの会で宮島のことを学び弥山に登りボランティア活動をする・・・正に模範的な生涯学習実践の場ではないでしょうか。ようやく第2号を発行できたと思っています。もう年の暮れ・・・次号の発行は21世紀です。会員の皆様、心身共に健康でさわやかに新しい年を迎えようではありませんか。(足立)

行事参加状況

氏 名	8/5 JPR 包ヶ浦	9/9,10 JPR 大久野島	10/15 弥山観察会	備 考
浅井 孝夫	-	-	-	会員紹介第2号掲載
麻生 博史	-	○ 1班	-	
足立 清	-	-	○	
池下 宏	○ 1班	-	○	(会員紹介第1号掲載済)
池田 靖夫	○ 1班	-	○	
岩崎 義一	-	-	-	会員紹介第2号掲載
小川 加代	-	-	○	会員紹介第2号掲載
木下 三郎	-	-	○	
倉本 文夫	○ 2班	-	-	(会員紹介第1号掲載済)
近藤 芳子	-	○ 2班	○	
佐口 三郎	○ 2班	-	-	
島 千代喜	-	-	-	
新川 博	-	-	○	会員紹介第2号掲載
末原 義秋	○ 3班	-	○	(会員紹介第1号掲載済)
住田 正明	○ 1班	-	-	
竹内 栄太郎	-	-	-	
竹中 康憲	○ 3班	-	-	
立川 元英	-	-	-	
谷口 和昭	-	-	-	
中川 正	-	-	○	会員紹介第2号掲載
中道 勉	○ 4班	○ 4班	○	(会員紹介第1号掲載済)
中本 章治	-	-	-	
名越 正子	○ 2班	-	-	
野呂田 恵子	-	-	○	会員紹介第2号掲載
花見堂 英延	○ 3班	-	-	(会員紹介第1号掲載済)
東丸 久	○ 4班	-	-	(会員紹介第1号掲載済)
平田 広三郎	-	-	-	
平山 美知子	○ 4班	-	○	(会員紹介第1号掲載済)
佛崎 勝弘	-	-	-	
古川 義文	-	○ 3班	○	
本田 隆徳	-	-	-	
松尾 健司	○ 記録5班	-	-	会員紹介第2号掲載
丸平 健二	○ 5班	-	○	会員紹介第2号掲載
宮崎 春雄	-	○ 5班	-	
村上 光春	-	-	○	会員紹介第2号掲載
森 明彦	○ 5班	-	-	
森川 範吾	○ 6班	-	-	(会員紹介第1号掲載済)
森広 香代子	○ 6班	-	○	
柳瀬 佳史	-	○ 6班	-	
矢吹 凌一	○ 6班	-	-	会員紹介第2号掲載
横山 忠司	○ 本部	○ 記録	○	(会員紹介第1号掲載済)
吉川 直樹	-	-	-	
六重部 篤志	-	-	○	会員紹介第2号掲載
若宮 直美	○ 本部	-	-	